

T I S インテックグループ 2019 年年頭所感

T I S インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下 TIS）は、グループ各社の「2019 年年頭所感」を発表いたします。

【TIS 株式会社 代表取締役会長兼社長：桑野 徹】

2019 年の年頭にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

世界情勢は、米中関係に起因した先行き不透明感はあるものの、日本国内では、働き方改革や生産性の向上、抜本的なビジネス変革を目指した「デジタルトランスフォーメーション」が加速し、デジタル技術を通して、TIS がお客様のお役に立てる機会が増えてきていきます。

昨年、TIS では中期経営計画「Transformation to 2020」を発表しましたが、これからの事業構造転換や成長には、今まで以上に外部企業との積極的な連携が必要だと考えています。例えば、資本業務提携を行った Blockchain 技術でトップクラスの実績・ブランドを誇る R3 社のような、グローバルで通用するソリューションを持つ企業や、自律移動型ロボット開発ベンチャー企業 SEQSENSE 社のようなスタートアップ企業との連携を、今後は更に強化します。そして、コア事業への集中、先行投資型への事業構造転換を進めながら、お客様の事業成長に貢献すると共に、会社の持続的な利益成長と社員の自己実現を後押しすることを進めていきます。

働き方改革や人材活用の観点では、本年 4 月より 60 歳以降も処遇制度が変わらない「65 歳定年制度」を導入します。「65 歳定年制度」は、実力とやる気を備え経験を積んだベテラン社員のモチベーション低下を招くことなく、活躍の機会を広げる制度です。当社の社員には、常に新たな知識や技術の習得とチャレンジを促し、20 代、30 代の若手社員と 60 代の社員が、同じ土俵で競い合う、真の実力主義の場を提供していきます。

また、昨年 7 月には、社会課題への対応という観点から、グローバルコンパクトへの署名、マテリアリティの特定と SDG s とのマッピングを行いました。例えば、キャッシュレス化による便利で効率的な社会の実現というテーマでは、TIS は大きな貢献ができると考えています。これ以外にも様々な分野において、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

新しく迎えた年を、社会の進化を担うメンバーとして、お客様、株主、従業員、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様と共に成長する起点としてまいります。

【株式会社インテック 代表取締役社長：北岡 隆之】

新年あけましておめでとうございます。

昨年は多くのお客様が、事業の効率化や拡大を目的として積極的に IT を取り入れようとする活発な動きがありましたが、その反面、IT 人材の不足も顕著になりました。このような情勢のもと、インテックは様々なスキルを持つ従業員が一丸となり、本年もお客様の課題解決を担うパートナーとして精進してまいります。

2019 年は、創業 55 周年の節目の年となります。「ひらく、つなぐ、変える。」をキーフレーズに、従来のシステム開発にとどまらず、AI、IoT、RPA などのデジタル技術の活用や、「モード2」と呼ばれる新たな価値創造型の開発にも積極的に挑戦したいと考えております。

金融機関のお客様へのブロックチェーン技術や、より付加価値の高い機能を追加した CRM クラウドサービスのご提供、製造業のお客様への AI を活用した異常検知ソリューション、医療機関のお客様には医事会計パッケージと RPA の連携など、様々な分野でお役に立ちたいと思います。

本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【株式会社アグレックス 代表取締役社長：八尾 政範】

あけましておめでとうございます。

ビジネス基盤の整備を行った昨年は、当社にとって変化の一年となりました。

昨春に本社の移転や新拠点「Biz TRUXIA (ビズトラシア)」の開設を行い、それを機に働き方改革にも本格的に着手しました。その結果、制度やオフィス環境だけでなく社員一人ひとりの意識にも変化が表れてきたと感じています。社員がいきいきと働ける会社の実現に向け、加速度をあげて取り組んでまいります。

本年は、中期経営計画 2 年目を迎えます。事務 BPO だけでなくシステムや AI 技術、RPA などを効果的に組み合わせ、お客様の業務プロセスそのものを最適化する「BPO (業務サービス) × SI (IT 力) = BPI (Business Process Integrator)」を一層推進し、お客様の経営課題をともに考え解決する戦略的パートナーになれるよう努めてまいります。

「BPI」を実践する「Biz TRUXIA」では見学会も開催していますので、ぜひ足をお運びいただき、アグレックスのサービスを体感いただきたいと思います。

本年もお客様のビジネスを推進する「BPI」企業として更なる進化を目指し、着実に推進していく所存です。引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

【クオリカ株式会社 代表取締役社長：加藤 明】

新年あけましておめでとうございます。

2019 年は、クオリカビジョン2020【Global IT Service Innovator】のゴールを目指すべく、昨年からスタートしました中期経営計画【WAKUWAKU GEMBA 2020 (ワクワクゲンバ2020)】の2年目にあたります。このキャッチフレーズは、「現場がワクワクする企業風土改革を推し進め、社員がワクワクし、さらに夢と誇りをもった働きがいのある会社となること」を狙いにしております。

2020年の東京オリンピックに向けて、「働き方改革」や「IoT、AI」などの流れは、ますます加速することでしょう。当社は、従来のサービスに加え、IoTヘルメット (iBowQube) やスマートフォンを利用したシフト管理サービス (TimeManagementQUBE) など、製造業のものづくり現場、流

通業・外食業のサービス現場の業務改革につながる新たなサービスを積極的に提供してまいります。

これからも外部環境の変化にいち早く対応し、お客様のデジタルトランスフォーメーション推進のお役に立てるよう、新しいサービスの開発に取り組んでまいりますので、本年も引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【AJS 株式会社 代表取締役社長：河崎 一範】

あけましておめでとうございます。

わが国経済は、企業収益の改善傾向もあり、緩やかな回復基調で推移しておりますが、地政学リスクや米中貿易摩擦の影響で先行き不透明感があります。

2018年4月に「グループビジョン2026」を灯台として策定した新たな中期経営計画『Let's Roll 2020』をスタートさせました。2026年までの第一ステップとなる現中期経営計画では、ストラテジックパートナーシップビジネス領域に対しては『製造現場へのICT深耕』、IT オファリングサービス領域に対しては『ソリューション拡大』を重点テーマとしています。

昨年は3年続けて開催している旭化成向けの内覧会のご来場者が1,000名を突破しました。内覧会などでのAIやIoTへのご期待に対して、スカイディスク社やアドダイス社およびTISインテックグループ各社との協業によって精力的に取り組んでいるところです。

また、顧客密着を図るために旭化成ホームズグループの神保町への本社移転に併せて、当社も神保町三井ビルの一室に事務所を構えました。旭化成の日比谷への本社移転に併せ、近隣へのシェアオフィスも開設しています。

『ソリューション拡大』に対しては、「P-TH」に加え、「HireVue」や「SAP FieldGlass」といったHR-TECH分野のソリューションラインナップを拡充させつつあります。

2019年は31年続いた「平成」が終わり、新元号となる節目の年となります。我々は時代の変化を俊敏に捉え、俊応できるチャレンジングなムーバーとなり、さらなる成長を目指していきたいと思えます。

【TIS ソリューションリンク株式会社 代表取締役社長：西野 隆英】

あけましておめでとうございます。

今年、平成最後の年、十二支で「亥年」。季節は冬とのこと。また、亥年は、荒れる年とよく言われます。既に世界は、米中貿易摩擦、EUは各国とも憂慮される状態、中東は相変わらず紛争続き。日本も、春の統一地方選挙・秋の参議院選挙と選挙の年。4月には働き方改革、外国人労働者受け入れ法スタート。5月には改元、10月には消費税増税などが待ち構えています。また、秋以降オリンピック不況が出てくる可能性もあります。

翻ってIT業界を取り巻く環境は、MaaS・IoT・AI・RPAなど新しい未来指向の技術が、私たち社会生活の中で今まで以上にスピードを上げ具体化・実用化され、社会構造にも大きな変化が生まれると想像できます。

このように世界で不確実な情勢が継続し、社会が大きく構造的に変化中、私たちグループは社会変革を先導していく立場であり、社会的責任も大きくなってきます。

当社も「技術立社」として、新しい技術分野に積極的に取り組み、未来社会創造に寄与していきたいと思えます。最も重要なのは、人財の確保・育成であり、社員教育などの投資を積極的に行っていきます。

今年、亥年ですが、猪突猛進は控えたほうがよさそうです。冬、そして荒れる年の中、しっかりと情勢を見極めることが第一。そして、しっかりと力を蓄えつつ着実に前進、チャンスを見極

め一挙に攻める。そんな一年にしたいものです。

また一年、夢を語り、笑顔で楽しい一年にいたしましょう。

【TIS システムサービス株式会社 代表取締役社長：浅野 俊男】

あけましておめでとうございます。

昨年は災害が多く発生し、被災地の方々の生活のみならず、ビジネスへの影響も少なくはありませんでした。我々ITサービスの提供事業者としても、お客様のビジネス継続についての在り方を再認識した年でもありました。

2019年は昨年スタートした中期経営計画の2年目を迎え、ステップアップの年となります。

昨年より進めてきた製造改革・業務改革については活動が社内に浸透してきましたので本年はその取り組みをベースとして、運用品質および運用サービスを進化させると共に、従来の課題解決型アプローチからお客様の事業戦略に直結する提案型アプローチの姿勢に切り替えて、お客様に真にご満足いただけるサービスの提供に向けて全社で取り組んでまいります。

一方、働き方改革にも積極的な投資を行い、社員が満足できる会社の実現に向けて取り組んでまいります。

本年も引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上

T I S インテックグループについて

T I S インテックグループはグループ会社約 60 社、2 万人が一体となって、それぞれの強みを活かし、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える I T サービスをご提供します。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

TIS 株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 浄土寺/橋田
TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp